

文教厚生委員会会議録（要点筆記）

平成24年12月13日（木）

午前9時30分 開会

○小出義一委員長

ただ今より、文教厚生委員会を開会します。閉会中の調査事項についてを議題とします。閉会中の調査テーマは、地域における子育て支援推進についてということで、委員会としての提言をまとめていくうえで、今後の方向性や調査研究の必要な事項について、皆さんのご意見を伺ってまいりたいと思いますが、当局から先回説明のあったアンケートの補足分析をいただいておりますので、補足説明をお願いします。

○江原子育て支援課長

【資料に基づき説明】

○小出義一委員長

ただいまの説明に対して、ご質疑がありましたらお願いします。

○山内悟委員

半田市における子育て支援の必要度が分かる資料だと思います。子育て相談の24時間対応の件ですが、先ほどはんだっこネットが対応できるという事ですが、ネットですから相談を送ることは24時間対応できると思いますが、返事までできるのでしょうか。

○江原子育て支援課長

当初からネットを利用して相談をいつでも受けられるようにと設けたのですが、申し訳ありません、職員は夜7時になると帰りますので、それ以降、朝までの間にメールを入れていただいたものについては、すぐに返事は出来ませんので職員が朝確認しだいで対応させていただいています。留守電の所について、今までそういった視点を持っておりませんでしたので、夜中に録音していただいた方については、職員が来次第対応させていただきたいと考えています。

○山内悟委員

1ページの子育てについて悩む事がよくある。のうち出現率で一番高いのが有脇小学校。それから子育ての不安が全く感じる事が無い。の出現率も一番高いのが有脇小学校。これはどのように見たらよいのか。

○江原子育て支援課長

そういった方達が有脇地域には、両極端と言いますか、そういう人達が住んでみえるという事だと思いますが、有脇地域の状況を見ていただくと

【「旧部落と何とか団地」との発言あり】

はい。穏やかな住宅の中に委員がおっしゃるような状況も見られますので、そうした事も考えるとこういった出現率になるのかなと、この数字を見て思っておりました。

○小出義一委員長

ほかにないようですので、またこの資料については、読み込んでいただきたいと思います。

それでは、今後方向性、調査研究が必要な事項について、皆さんのご意見を伺ってまいりたいと思います。

しばらく休憩します。

休憩 午前 9時46分

再開 午前 9時50分

○小出義一委員長

委員会を再開します。

今までの県外視察等を含めて調査した中で、もう少し地域の子育て支援に関する民間活力の活かし方、高め方という点で調査研究をする必要があるというご意見をいただいたというふうに思います。それに沿って調査研究をしたいとしたいと思います。

しばらく休憩します。

休憩 午前 9時51分

再開 午前10時15分

○小出義一委員長

委員会を再開します。

ありがとうございました。我々にとってプラスになる候補地があれば、なければ無理に行く必要も無いかなと思います。もう少し調査しながら、あれば視察を行うという事で進めてまいりたいと思います。これにご異議ありませんか。

【「なし」との声あり】

ありがとうございます。それでは、目的を明確にして、成果が出るように調査しながら進めていくという事でよろしくをお願いします。

しばらく休憩します。

休憩 午前10時17分

再開 午前10時18分

○小出義一委員長

委員会を再開します。

それでは、県内視察の候補日を1月24日（木）と1月28日（月）とさせていただき、視察後の委員会を2月5日（火）9時30分とさせていただきますので、よろしく申し上げます。視察先につきましては、先ほどご意見をいただいておりますので、目的を明確にしながらか候補地を選定してまいりたいと思いますので、よろしく申し上げます。

これにご異議ございませんか。

【「なし」との声あり】

ありがとうございます。

以上で子育て支援に関する議題を終了したいと思います。引き続きいじめ問題について皆様のご意見を伺いたいと思います。

しばらく休憩します。

休憩 午前10時19分

再開 午前10時20分

○小出義一委員長

委員会を再開します。

先日、教育委員との意見交換を行いました。その結果を踏まえていじめ問題について、半田市議会として何をすべきかについて、皆様のご意見をまとめていきたいと思っています。

先回の意見交換をした中で、出てきた意見について要点をまとめていただいております。

す。羅列しても次の対策をどうしていくのかという事になりにくいかと考えまして、3つに分類してみました。必ずしも明確な分類の方法では無いので、他の項目にまたがるような事もあるかも知れませんが、いじめをさせないための対策として、いくつかのご意見が出ております。そしていじめを発見するための対策としてもいくつかのご意見が出ております。そしていじめを発見してからの対応ということでの意見も出ておりました。私からの提案ですが、この大きく分類した3つの対策、対応という事に視点をおきながら現状がどうなっているのかという事もつめて、そこに対してどう補強していくべきかというような事を議論して進めていったらどうかと思っております。このことについてご意見を伺いたいと思います。

○中村宗雄委員

ここに明記してあることから、この委員会の中でこれとこれだと抽出するという事なのですか。

○小出義一委員長

これは、今まで出てきた意見ということで、これだけで十分対応が出来るかということ、現実どんな対応がとれているのかという確認も少し不足していると思います。

○中村宗雄委員

この中で時間をかけてある一定の結論が出た時に、それはどこへアウトプットされていくのですか。意見がまとまって、対策はこれだと、発見する対策はこれだと決まった成果品というのは、議長へ報告するのか、教育委員会へ言うのか、全議員に言うのですか。

○小出義一委員長

議長からの指示があって委員会で協議していただいておりますので、先回では条例を作るといような方向ではなくて、何々宣言をすべきではという事も中には入っていました。その方向でまとまるのであれば、その方向でやるべきと議長に報告を。それは市議会としてなのか、教育委員会へ提言すべきだという事なのかは、これは皆さんのご意見の中で進める事だと今のところそう思っています。

○山本博信委員

教育する場というのは3つあると思います。家庭教育、学校教育、そして社会教育。この3つが上手く連携するという事もひとつの視野に入れる大事なテーマのひとつとして、このいじめ問題を見て行くことも価値があることと私は思っておりますので、もし、皆さんがそのように思われたなら、そういう視点を取り上げてもらえたらありがたいと思います。

○小出義一委員長

そういったご意見もこの中に含まれておりますので、こういったまとめの中で確かに今おっしゃるような視点がなければ進めませんし、では具体的にどうするんだという事も整理していかないと進みませんので、大きい項目としていじめをさせないための対策として、どんな事が具体的にとられているのか、現実はどうなのかという事を検証しながら足りない所を補足していく必要があると考えておりますが、これについていかがでしょうか。

○山本博信委員

いじめをするのは子どもなんです。子どもの精神構造を作っていくのは主に家庭だと思えます。家庭の場においていじめは良くないとしっかり子どもに理解させて家庭の中の教育を進めていくことが、まずもって一番大事だという気がします。

○小出義一委員長

それを誰がどうするのか。それをどこへどう働きかけるのか。

○山本博信委員

家庭教育の重要性を親に対してしっかりと持ってもらうような啓発行動をとるという事も大事と思います。

○小出義一委員長

こういう分類に対して、もっと他に分類があるという事なのかどうか。この分類の仕方現実がどうなっているのか、教育委員会と学校はどう取り組んでいるのか、それを検証してしないと物が言えないのではないかという事で検証する方向で進めていきたいと思いますがいかがでしょうか。という提案です。これについてご意見をいただきたい。

○山本博信委員

先ほども言わせていただきましたが、家庭、学校、地域のその3つの教育の中でいかに上手く利用して、このことを前提にして良いものを作っていくという考え方も必要ではないかと私は思います。

○中村宗雄委員

時系列を整理した方がいいと思いますが、可児市が条例を制定して、議運の中で半田市議会として何かしないといけないのではと大津の事がピークでしたから、そういう気持ちにかられて、まず文教が教育委員会とやろうという話があり、今に至っていますが、今雰囲気はそこにどうも向いていない、今更半田市が条例を制定しようとは誰も思っていないと思います。我々のすべき事をどこかへアウトプットする機会は無いです。半田市はこれを宣言しますとか、そういう事をやるタイミングは無い中で我々は教育委員会の方と懇談して、何が必要で何が必要ではないかという事は見えて来ていると思います。条例は必要では無い事が分かって、学校は文句を言わず協力して欲しいという事が本音の話だと思いましたが、その中でどうしていくのか、委員長にゴールを示してもらったほうが、今は議会として何かを対外的に発信するタイミングではないと思います。

○小出義一委員長

いじめをさせないための対策として、学校の中でやっている事例は報道などで目にします。そういう事をやっていることによっていじめを無くす意識というのは、子ども達に植え付けられていくんだらうという事例は多々目にします。本市の各小学校でどのような取組みがされているのかという事がまだ十分な検証がされていない中で今大丈夫だと我々が言い切れるかどうか確認していかなければならないと思っています。私としては、この分類で教育委員会が何をやっているのか報告していただいて、それに対して質疑の時間を設けて確認し不足分について検討していきたいと思っています。

○久世孝宏委員

閉会中の調査テーマのように提言をするのですか。条例など何かアクションを起こそうと、中村委員が言われたように専門家ではないので、こうしろ、ああしろとはこの短期間ではそこまで言い切れません。その中で議会としてどんなアクションが出来るかのひとつが条例を作る。条例まで必要が無いのであれば、当局に言うか一緒に何か宣言をするとか、そういうゴールの方が良いと思います。例えば、教育委員会の方へいじめの関係で何かやってくれないかとかは大きなくくりの中で言う事は出来たとしても、細かいところまでという

のは、専門家でも無いのに余計なお世話と言われてしまう。そんな気がします。

○小出義一委員長

しばらく休憩します。

休憩 午前10時36分

再開 午前10時40分

○小出義一委員長

委員会を再開します。

いじめ問題については、今回ペーパーにまとめたものを提出させていただきまして、この内容で議長に報告すれば良いのではないかという意見が出ました。これについてご意見をいただきたいと思います。

【「なし」との声あり】

特にないようですので、お諮りします。いじめ問題への対応というペーパーを議長に報告するというので、いじめ問題については、決着を図る、委員会としての態度を明らかにするというので、ご異議ございませんか。

【「異議なし」との声あり】

ありがとうございました。それでは、いじめ問題の対応については、ペーパーでまとめたものを議長へ提出させていただきます。

その他で何かございませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、これで文教厚生委員会を閉会します。

終了 午前10時43分